

「千葉氏」について、基本的なことを学習しましょう。



千葉市立郷土博物館 (千葉城)
(きよとへはくぶつかん)

千葉市立郷土博物館では、千葉市と関係が深い、その名もまさに「千葉氏」に関して多くの資料を展示しています。それは郷土の歴史をよく知ってほしいとの願いからです。

そもそも千葉氏って、いつ頃の、どんな人たちなのでしょうか？ かんたんにご紹介します。興味がわいたら、ぜひ展示を見に来てください。

1 千葉氏という武士の一族は、**桓武天皇**を祖先とする**平氏**の家系でした。

2 房総半島の東京湾に面した中央部の、現在の千葉市域を中心とする地域「千葉荘」(ちばのしょう)等を勢力とした、いわゆる地方の武士の集団です。

3 平安時代の終わり頃(1126年)に、千葉**常重**(つねしげ)が、緑区の大椎(おおじ)から千葉に本拠を移したと伝えられています。そこから地名である「**千葉氏**」を名乗ります。その後、現在の千葉のまちの基礎を築くとともに、**武士団**として成長していきました。



千葉常胤^{さそう}坐像(当館蔵)

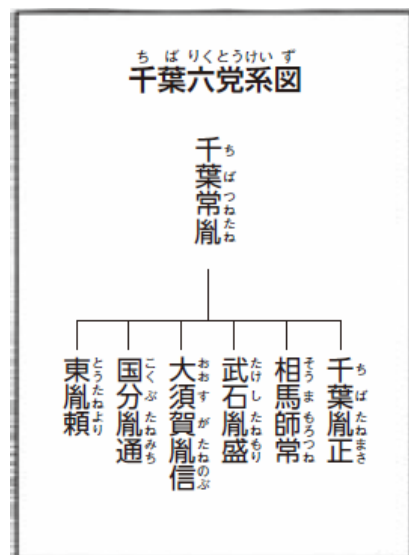
4 千葉氏は平氏の家系ですが、平安時代の終わり頃に起こった「源氏と平氏の戦い」では、一族の発展と成長をめざして**源氏**に味方しました。



頼朝様のお気持ち
しかと
受け止めました

5 **源頼朝**(みなもとのよりとも)は、**伊豆**(いず＝現在の静岡県伊豆半島)で **平氏**をたおす兵をあげましたが、**相模**(さがみ＝現在の神奈川県)の**石橋山**(いしばしやま)での戦いに敗れて、**安房**(あわ＝房総半島の南部)にのがれてきました。**千葉常胤**(つねたね＝つねしげの子)は、積極的に源頼朝に味方するとともに、後の**鎌倉幕府**(かまくらばくふ)の成立に大きな役割を果たしました。

6 鎌倉幕府の成立に大きな役割を果たした千葉氏は、その恩賞(おんしょう)として、千葉県以外にも現在の東北地方の宮城(みやぎ)県や福島(ふくしま)県、九州地方の佐賀(さが)県など、各地に多くの領地を与えられました。そして、千葉常胤の六人の子どもたち(「千葉六党」といいます)が分割して受け継ぎ、それぞれの領地の地名を「名字」として名乗って、全国的な規模で活躍しました。



7 15世紀の中ごろ、一族の中での争いによって千葉城が落城し、多古(たこ)にのがれた本家は滅びてしまいます。その後、本家の後を継いだ千葉氏の一族は、新たに本拠地を本佐倉城(もとさくら＝現在の酒々井町・佐倉市)に移しました。

本佐倉城の主郭エリア



8 戦国時代の千葉氏は、千葉県の南部で勢力を増した里見(さとみ)氏に対抗するため、関東地方全域の支配をめざす北条氏にしたがう形になっていました。そして、そのあとに全国統一をする豊臣秀吉によって滅ぼされた北条氏と運命を共にすることになりました。

9 千葉氏は「妙見(みょうけん)」を守護神として祀(まつ)ること(=妙見信仰)で、一族が強く団結していました。

「妙見」というのは、天体である北極星や北斗七星を神としたものです。ですから、千葉氏の家紋の「月星紋」には(月と)星が描かれています。ちなみに、現在の千葉市のマーク(千葉市章)をよく見ると、月星紋と千葉の「千」をデザインしたものであることがわかりますね。



千葉氏の家紋のひとつ
「月星紋」



千葉市章

10 では、最後に復習問題です！

(1) 2026 年は、千葉氏が千葉に本拠をおいてから 年目にあたいます。

(↑ 計算してください)

(2) 源頼朝を味方となって支え、鎌倉幕府の成立に大きな役割を果たし、千葉氏を大きく成長させた人物は 千葉 です。(←漢字で書けるとよいですね！)

(3) 千葉氏が千葉のあとに本拠地としたのは です。(←地名を答えましょう)

(4) 千葉氏が守護神として祀(まつ)ったのは「」です。(←漢字 2 文字です)

** 郷土博物館のホームページ → 「千葉氏ポータルサイト」 → 「千葉常胤」と進んでいくと、マンガ版の「千葉常胤公ものがたり」(静止画版 ダイジェスト動画版 中国語解説付き版) があります。ぜひ見てください。